

連載第2回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市議員
たけのうち猛

〈プロフィール〉

昭和49年、大分県大分市生まれ。創価大学法学部卒業。金沢区在住。平成27年4月、横浜市議員に初当選。公明党公認。建築・都市整備・道路委員会。減災対策推進特別委員会。

〈ご相談・ご連絡先〉

公明党金沢支部事務所：
金沢区富岡西3-38-1-101
TEL：080-9804-9782
FAX：045-345-4345
✉ info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

皆さまが暮らしやすい街へ

風呂なし市営住宅の問題を考える

8月もお祭り 宅で、六浦、瀬戸橋 への出席や市民 瀬ヶ崎住宅には風呂が 相談の対応へ、 ついていません。数十 金沢区内各地を 年前は近所に銭湯があ 精神的に回らせ りましたが銭湯の数が 減り、特に高齢の同居 者の皆様にとって遠方 の銭湯に通うことは体 力的にも大きな負担と なっています。特に暑 い時期は、せつかく風 呂に入っても帰り道で また汗だくになってし まうとのこと。銭湯の

代金も1回470円と 毎日入るとその料金も ばかになりません。我 慢して回数を抑えてい る方も多いに違いあり ません。健康上、精神 衛生上、問題があると 言わざるを得ません。

Q・深刻な問題です。改善方法は。

A・市営住宅敷地内への簡易シャワー室の設置など、いくつか提案をもって当局と話をし

ましたが、様々な制約から実現が難しいとのこと。特に、瀬戸橋住宅は最寄りの銭湯も非常に遠いため、希望者へ「他の市営住宅への申込みを可とする」対応を実施。しかし応募者はわずか数世帯だったそうです。そのため「それほど深刻な問題ではないのでは」との見解を示す当局者もいました。そうではありませんが、新しい市営住宅に移ると家賃も上がり、なにより住み慣れた地域を離れることに、多くの方がためらいを感じているからだと思います。当局へ更に踏み込んだ対応をお願いしましたが、引き続き解決の方途を模索して参ります。